

てくてく ウォーク 114

西染町南部 ウォーキングコース

〔スタート〕西染生活改善センター

▼距離…約2.5km

▼時間…約1時間

前回に引き続き、今回ご紹介するのは西染町南部ウォーキングコースです。

西染町周辺には、かつて18人の武士がいました。領主であった、佐竹氏十六代の佐竹義舜(さしきよむね)は、山入氏(やまいり)佐竹氏の族と戦をする際にこの18人の武士たちの協力を受けることで勝利を収めました。義舜がお礼に、この村の租税を10年間免じたことから租免村(そくめんむら)と呼ばれ、のちに「曾目」↓「染」という字が当てられ、西染・中染・東染に分かれたと言われています。

そんな地名の由来や、昔話、かつてこの地にあったとされるお城などに思いを馳せながら、ゆったりと西染町南部を歩いてみてください。

① 西染観音



スタート地点である西染生活改善センターの裏側にあります。近隣の家庭では、子や孫が生まれる頃に安産を願ってお参りに来るそうです。

② 如意輪観音



子どもを抱きかかえているこの観音様は如意輪観音様で、2体のお地藏さまと一緒に祀られています。

③ 岩船神社



杉林に囲まれた荘厳な雰囲気漂う神社です。春・秋の祭礼、虫除などが行われているそうです。

④ 石仏群



岩船神社の裏に、馬力神、馬頭観世音などの石仏群があります。足場が悪いので、お気をつけてご覧ください。

西染城跡

かつてこの地にあったとされる西染城は標高190mに位置し、今もなお、面影を残している。城の歴史は不明であるが、山入城の北方面を守る物見の城であり、緊急時の住民の避難所にされていたのではないかと推定されている。

近くにおいでの際には
ぜひお立ち寄りください!



西染生活改善センター
西染町783

START&GOAL



⑤ 松の木



道路沿いにそびえる立派な松です。樹高は15mほどあり、日本の風景を形作る代表的な木としての力強さを感じさせます。

西染昔話

若衆に化けたカワウソの物語

昔、若い男に娘や老人が騙され、困ったことが続いていた。ある時、山田川の川べりで若い男がカワウソの姿になるところが目撃された。その後、村の皆で着物をくわえた3匹のカワウソを追いついてからは、姿を見せなくなったという。